



白泥文土瓶 胴径 20・高さ 23cm



焼締長石壺 胴径 24・高さ 22cm



刷毛目碗 口径 14.5・高さ 8.5cm



象酒器 幅 16・高さ 17.5cm

YAMAMOTO MASAHIKO EXHIBITION SONI VILLAGE STYLE TRIBAL POTTERY



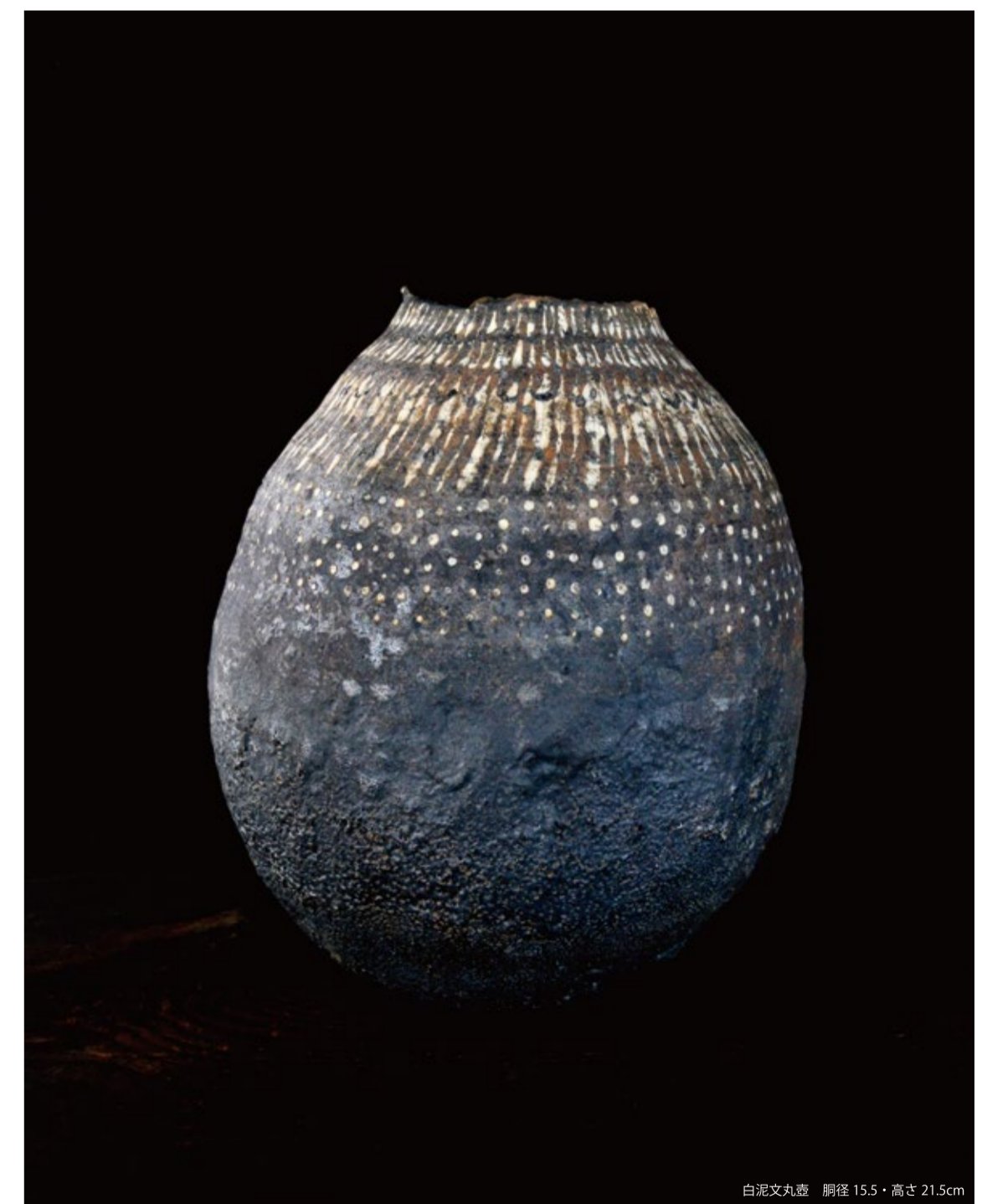
焼締長石碗 口径 12.5・高さ 9.5cm



青灰鉄絵深皿 径 24.5・高さ 5cm



角酒器 幅 18.5・高さ 15cm



白泥文丸壺 胴径 15.5・高さ 21.5cm

奈良県曽爾村（そにむら）で暮らす山本雅彦さんの作る焼き物には原始的（プリミティブ）というよりも民俗的（トライブル）な印象を持っています。例えばオセアニアの島々の工芸、南米ペルーの素朴なフォークアート、西アフリカのブルキナファソの加飾された土器など、限定された地域や部族が作り出してきた土俗文化との共通性です。決してそれらを写した物ではないのですが、山本さんのモノづくりの衝動と重なるように思うのです。昨年参考資料として提供したオセアニアの写真を対して「白や黒でいかに絞線をつくれるか、指や植物でどれだけの事が出来るのか、そして何よりそこに自分が存在するのか、技術ではない人間力があの本には詰まっ

ています。パッションも血なまぐさも喜びも憂いも受け取っています。」との言葉が返ってきました。やはり山本さんの根底にある造形感情と繋がるのだと確信したのでした。また彼の作るものは全て実用に根差している点も見逃せません。根底に潜むアニミズムと用途の両面性。自然崇拜、信仰、畏怖、呪術、調和。物には本来そういう思いが同時に籠められていたのだと思います。どの時代どの国どの民族と限定することは出来ませんが、この境界なき山本作品を散えて、今生成されつつある曽爾村式トライブルと称してイメージの形成を試みたいと思います。昨年引き続き第二回目となる個展です。どうぞお楽しみに。店主

山本雅彦展 曽爾村式トライブル
 2022年3月5日(土)～13日(日) 11時～18時 最終日は17時迄 作家在廊日 三月五日

料金後納
ゆうメール

ギャラリー うつわノート
 埼玉県川越市小仙波町1-7-6
 TEL 049-298-8715
 MAIL utsuwanote@gmail.com

山本雅彦プロフィール
 1981年 奈良県高取町に生まれる
 2003年 京都府陶工高等技術専門学校入校
 2004年 村田森氏に師事
 2007年 奈良県高取町にて独立
 2012年 奈良県御所市にて工房と住居を移す
 2017年 奈良県曽爾村に移住
 2022年 現在同地にて制作



山本雅彦展 曽爾村式トライブル
 2022年3月5日(土)～13日(日) 作家在廊日 3/5

GALLERY
うつわノート